



君の
コンさる

今日も視界良好

⑤ 熱意の差が結果を生み出す 代表取締役 長尾 康行

こんにちは。フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。10月は1年の中でも最も良い気候とも言われますので、仕事もプライベートも気分良く過ごしていきたいですね。

さて、私は出社すると毎日「松下幸之助 成功の金言 365」という本を読んでいます。この本は1日1話で完結する構成ですので全部で365話あります。1日1ページですので数分で読めます。もう何年も繰り返し読んでいますが、この本の中で最も私が好きな話が「ハシゴを考える」という話です。

要約すると、本当に熱心な人や偉い人は「どうしても2階に上がりたいと思えばハシゴを考えつく」という話です。2階に上がりたいなあ・・・、2階に上がってもいいけれど・・・というレベルではハシゴを考えるとどこまでいかない。俺の唯一の目的は2階へ上がることだと思っている人はハシゴを思いつくということが書かれています。熱意の有無で結果が変わるということを説いています。私自身も独立する前は「必ず成功して親に家を買う、自分も物心共に豊かになる！」という熱意をもっていました。そのための犠牲はたくさん払いました（その当時は犠牲とも思いませんでした）。実際にその熱意で独立しますと、やはり概ね描いていた通りになりました。

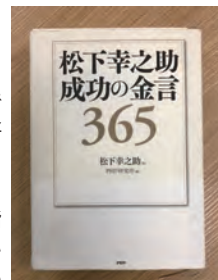
しかし、最近は「熱意」や「根性」といった精神論を象徴する言葉や概念はどうもネガティブに捉えられるような風潮になってきたような気がします。頑張らない方がスマートと言いましょか。そんな世の中になってきています。

話は大きく変わりますが、佳子様が留学されるイギリスのリーズ大学の図書館は24時間開いているそうです。また、世界一の大学とも言われるハーバード大学は朝の4時で満席だそうです。電気自動車のテスラモーターズ社や人類を火星に移住させる計画を実行しようとしているスペースX社などのCEOを務めるイーロン・マスクも週に100時間働くべきだと言っております。



これらの話は長時間労働や勉強時間が長いことが偉いとか偉くないという次元の話ではなく、何か夢や目的をもち、そこに全力を注いで最終的に手に入れようと努力している人が世界中に沢山いるということです。

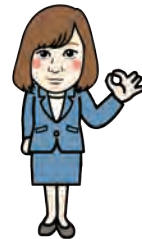
「どうしても2階へ上がりたい」という強い想いをもつことが熱意を生み出す「熱源」だと思いますが、個人々がそれぞれの熱源ともいえる想いをもっていないとすると少し寂しい話だと思います。リーズ大学及びハーバードの学生やイーロン・マスクは、必ず成し遂げたい何かがあるのでしょう。それをもっている人は幸せだと思います。かくいう私は目の前のことは一生懸命に頑張るものの、独立当初のような熱意がなくなっています。40歳になるまでの半年間でもう一度熱意をもって取り組めることを見出してみたいと思います。皆様にはそのような想いはありますか？またお聞かせください。



⑥ 仕事に取り組むときに気を付けている3つのこと コンサルタント 住吉 いずみ

こんにちは、コンサルタントの住吉です。

先日部屋の片付けをしていたのですが、高校時代の定期テストと大学のレジュメが入ったファイルが数冊出てきました。「1学期中間・英語」と時期別・科目別にインデックスが付けてあり、問題用紙と解答用紙、解答例がまとめて入っていて、我ながら感心しました（笑）高校卒業から10年近く経ちますが、綺麗にファイリングされていたのでどこに何が入っているのかが一目瞭然です。これは仕事においても非常に大切なことですね。



以前読んだ本の中に「ビジネスパーソンは探し物をするためだけに年間150時間も費やしている」と書いてありました。1日8時間労働とすると約19日分・・・もったいないですね！また、探し物だけでなく仕事の抜け漏れや段取り不足によって余計な仕事や残業が増えてしまうのも避けたいところですね。当社はおかげさまで全国各地にお客様がいらっしゃるの、移動時間も長く一分一秒でも無駄をなくしたい！と日々考えております。私自身も仕事の抜け漏れやミスを防ぐために、次の3つのことに気を付けながら仕事に取り組んでいます。

1つ目は「細分化」です。例えば、顧問先である企業様の訪問準備を行うときは、たんに「訪問準備」ではなく「会議アジェンダの作成、事前資料の回収、予実管理表の作成、キャッシュフロー計算書の作成、資料印刷、ファイル準備」などやるべきことを細分化してからひとつずつ取り組むようにしています。

2つ目は「取り組む時間を決めること」です。仕事の納期とは別に、自分がその仕事に取り組む時間を設定します。これは納期よりも2~7日前に設定することが多いです。納期直前になってから取り組むと、想像以上に時間がかかったり、余裕が無いためにミスをしてしまうことがあるためです。

3つ目は「一元化」です。仕事を細分化して取り組む時間を決めた後は、それらをすべて手帳に書き込みます。以前はTODOリストやタスク管理アプリを使用したり、ふせんに書き込んだり様々な方法を試していたのですが、あれもこれも使用するうちに忘れて見落とすことがあったので、手帳以外は使わないようにしました。今使っている手帳はウィークリーでスケジュールを書き込みますので、設定した時間にやるべきことを書き込み、終わったら二重線で消すようにしています。



どれも過去にたくさんミスをして試行錯誤した結果、少しずつ「型」が出来てきたものです。私はなんでも形から入ってしまうため、家には使い切れなかった手帳やTODOノートが山ほどあります（笑）。もちろん今も完璧ではありませんが、以前より仕事の抜け漏れやミスは少なくなったように思います。

もし皆様の周りで（特に若手社員の方など）残業が多かったり期日に遅れることが多い方がいらっしゃる場合は、どのように仕事に取り組んでいるのかを聞いてみてはいかがでしょうか？ご参考になれば嬉しいです。

⑦ 株式会社フラッグシップ経営の「活動日誌」をご存じですか？

当社では、毎月1回発行のニュースレターだけでなく様々な形で情報発信しています。WEBサイト上では、過去に支援させて頂いた企業様の支援実績やお客様アンケートも掲載しています。特に「活動日誌」コーナーでは、私どもの活動内容を毎日更新しています。ぜひご覧ください！



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-8-2 三見ビル2階

TEL：0120-34-8776 MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ
いいね！ お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter
@flagship_keiei にて 随時 情報発信中！

